

学会記事

【第5回総会】（2012年6月30日、於：筑波大学東京キャンパス文京校舎134講義室、参加者54名）

山下清海常任委員長の開会の辞、白坂蕃会長の挨拶のあと、高橋重雄を議長、福田綾を書記として選出し総会が始められた。

I. 会務報告について

会員数、第4回大会の開催、第11～13回例会の開催、機関誌「地理空間」第4巻1号および第4巻2号の刊行、ニューズレター（第11～13号）の発行、ホームページおよびメーリングリスト（jags-ml）の運営、2012年度学会賞の受賞者が報告された。

[地理空間学会学会賞]

【特別賞】

小林浩二

受賞対象：小林浩二著『西ヨーロッパの自然と農業－農業景観・農村景観を中心に－』大明堂、196頁、1986年。

小林浩二著『変貌する西ドイツの都市と農村－新たな地誌学的研究－』古今書院、323頁、1990年。

小林浩二著『都市と農業の共存』大明堂、260頁、1992年。

小林浩二著『激動の統合ドイツ－都市と農村の変化と課題－』古今書院、366頁、1992年。

小林浩二著『統合ドイツの光と影』二宮書店、210頁、1993年。

小林浩二編著『ドイツが変わる東欧が変わる』二宮書店、227頁、1996年。

小林浩二著『21世紀のドイツ－旧東ドイツの都市と農村の再生と発展－』大明堂、251頁、1998年。

小林浩二・佐々木博・森 和紀・加賀美雅弘・山本 充・中川聡史・呉羽正昭編著『東欧革命後の中央ヨーロッパ－旧東ドイツ、ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの挑戦－』二宮書店、258頁、2000年。

小林浩二著『中央ヨーロッパの再生と展望－東西ヨーロッパの架け橋はいま－』古今書院、258頁、2005年。

小林浩二・呉羽正昭編著『EU拡大と新しいヨーロッパ』原書房、197頁、2007年。

小林浩二・小林月子・大関泰宏編著『激動するスロヴァキアと日本－家族・暮らし・人口－』二宮書店、175頁、2008年。

小林浩二著『地域研究とは何か－フィールドワークからの発想－』古今書院、128頁、2012年。

【学術賞】

岩間信之

受賞対象：岩間信之編著『フードデザート問題－無縁社会が生む「食の砂漠」－』農林統計協会，162頁，2011年。

櫻井明久

受賞対象：櫻井明久著『社会科教師のための地理教材の作り方』古今書院，141頁，2011年。

仁平尊明

受賞対象：仁平尊明著『エネルギー効率から見た日本の農業地域』筑波大学出版会，316頁，2011年。

原田洋一郎

受賞対象：原田洋一郎著『近世日本における鉱物資源開発の展開－その地域的背景－』古今書院，300頁，2011年。

山下清海

受賞対象：山下清海著『池袋チャイナタウン－都内最大の新華僑街の実像に迫る－』洋泉社，191頁，2010年。

山下清海編著『現代のエスニック社会を探る－理論からフィールドへ－』学文社，213頁，2011年。

【奨励賞】

林 琢也

受賞対象：林 琢也「グローバル化に対応したリンゴ生産と品種の管理－日本ピンクレディー協会を事例に－」，茨城地理，10号，93～102，2009年。

HAYASHI, Takuya: 'Sustainable systems of agri-tourism in a cherry-growing area: A case study of the Miizumi area, Sagae City, Yamagata Prefecture, Geographical Review of Japan Series B, Vol. 82, 60-77, 2010.

林 琢也・呉羽正昭「長野盆地におけるアグリ・ツーリズムの変容－アップルライオン(国道18号)を事例に－」，地理空間，3巻，113～136，2010年。

吉田国光

受賞対象：吉田国光「北海道大規模畑作地帯における社会関係からみた農地移動プロセス」，地理学評論，81巻，402～421，2009年。

吉田国光・市川康夫・花木宏道・栗林 賢・武田周一郎・田林 明「大都市近郊における社会関係からみた稲作農家の農地集積形態」，地学雑誌，119巻，810～825，2010年。

吉田国光「山村における棚田維持の背景－長野県中条村大西地区を事例として－」，人文地理，63巻，149～164，2011年。

吉田国光・杉野弘明「近現代における小規模経営における味噌・醤油醸造業の地域的展開－長野県須坂市を事例として－」，地理科学，66巻，61～79，2011年。

吉田国光「中山間地域における農地利用の維持基盤－熊本県天草市宮地岳町を事例に－」, 地理空間, 4巻, 97～110, 2011年.

II. 2011年度決算報告・監査報告について

2011年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され, その収支について会計監査人より適正であるとの承認を受けたことが報告された。2011年度決算案は異議なく承認された。

III. 2012年度事業計画について

2012年度事業計画について, 「地理空間」第5巻1号および2号の刊行, 第5回および第6回大会の開催, 例会の開催, ニュースレターの発行が提案された。2012年度事業計画は異議なく承認された。

IV. 2012年度予算案について

2012年度予算案について, 収支と支出に関する説明がなされた。2012年度予算案は異議なく承認された。

V. 次期役員・専門委員会の構成について

次期役員および専門委員会(2012年7月1日～2014年6月30日)の構成員について報告された。次期役員および専門委員会構成員は異議なく承認された。

会 長: 内山幸久

会計監査: 手塚 章, 矢ヶ崎典隆

常任委員: 山下清海(常任委員長), 呉羽正昭(庶務委員長), 兼子 純(会計委員長), 森本健弘(集
会委員長), 松井圭介(編集委員長)

評 議 員: 井田仁康, 伊藤 悟, 伊藤徹哉, 小口千明, 小野寺淳, 加賀美雅弘, 兼子 純, 川瀬正樹, 菊
地俊夫, 呉羽正昭, 小林岳人, 小宮正実, 篠原秀一, 須山 聡, 平 篤志, 高橋重雄, 田林
明, 堤 純, 中西僚太郎, 中村周作, 中村理恵, 仁平尊明, 根田克彦, 橋本雄一, 平岡昭利,
松井圭介, 丸山浩明, 村山祐司, 森本健弘, 山下亜紀郎, 山下清海, 山下宗利, 若本啓子

<専門委員会>

庶務委員会: 呉羽正昭(委員長), 磯野 巧, 大石貴之, 福田 綾

会計委員会: 兼子 純(委員長), 栗林 賢, 福井一喜, 横山貴史

集会委員会: 森本健弘(委員長), 山下亜紀郎(副委員長), 池田真利子, 市川康夫, 卯田卓矢, 遠藤貴美子

編集委員会: 松井圭介(委員長), 堤 純(副委員長), 井田仁康, 小口千明, 須山 聡, 田林 明, 中西僚
太郎, 橋本雄一, 丸山浩明, 村山祐司, 矢ヶ崎典隆, 山下 潤, Thomas C. Waldichuk

(書記): 小野澤泰子, 橋本暁子, 橋本 操

学会賞選考委員会: 井田仁康(委員長), 岩間信之, 仁平尊明, 村山祐司(事務局)

(※2012年7月1日～2013年6月30日, 1年間)

【大会報告】

第5回（2012年6月30日～7月1日，於：筑波大学東京キャンパス，参加者91名）

・研究発表

福井一喜（筑波大・院）：長野県飯田市におけるローカル新聞を用いた広告活動の展開

渡邊敬逸（財団法人小千谷産業開発センター）：中山間地域における集落連合の形成と課題－小千谷市
東山地区を事例に－

堀本雅章（法政大沖縄文化研究所）：架橋に対する住民意識－沖縄県伊平屋島村野甫島の事例－

卯田卓矢（筑波大・院）：戦前期比叡山における観光化と教団の対応

Konstantin GREGER（筑波大・院）：Micro-Scale Terrorism Vulnerability Mapping：A Case Study
of Tokyo, Japan

吉田国光（金沢大）：十勝平野における農家間ネットワークからみた大規模畑作をめぐる農業生産空間
－とくに共同収穫と出荷形態に注目して－

鄭玉姫（立教大・非）・丸山宗志（立教大・研）・佐藤大祐（立教大）：昭和初期の雲仙における外国人客
層と東アジア避暑地間の競合

久木元美琴（学振PD・首都大）・小泉諒（首都大・院）：東京都における保育サービス供給の地域格差
－認可外保育所の立地と供給主体に注目して－

岩間信之（茨城キリスト教大）：日本におけるフードデザート問題研究のフレームワーク

藤永豪（佐賀大）：干潟・浅海域における漁撈と環境認知－有明海の事例－

・招待発表

田代博（筑波大附属高）：メルカトルはオランダ人ではない！地図・地理教育の現場からの話題提供
－40年の授業実践を踏まえて－

・ポスター発表

艾博翰（筑波大・院）・山本敏貴（筑波大・院）・橋本操（筑波大・院）・Ko Ko LWIN（筑波大）・村山
祐司（筑波大）：キャンパスライフ向上のためのWebGIS

石坂愛（筑波大・院）：空間認識と場所イメージの主体別比較－「原宿」を事例に－

磯野巧（筑波大・院）・蘇磊（筑波大・院）・新名亜津子（鳥取環境大）：南アルプスジオパークにおけ
るジオサイトの利活用

小野優（東京大・院）：東日本大震災に伴う帰宅困難者の空間行動

金子愛（筑波大・院）：平成の大合併における群馬県高崎市と周辺市町村の合併協議過程に関する研究
－吉井町と玉村町を事例として－

神文也（筑波大・院）：観光にみる筑波山のイメージメディア分析を用いて－

北島吉崇（日本放送協会）・藤永豪（佐賀大）：沖縄渡嘉敷島阿波連における信仰空間とその変容

駒木伸比古（愛知大）：愛知県におけるドラッグストアの立地展開－超高齢社会における地域医療拠点

としての役割に着目して－

小室 譲 (筑波大・院)：山村地域における観光客の受け入れ態勢と地域住民による観光地の形成について－宮崎県高千穂町を事例に－

中川恵理子 (東京大・院)：生鮮野菜産地の集中度と卸売市場間価格差の空間パターン分析

橋爪孝介 (筑波大・院)：ローカルフードの導入による地域振興の現状と課題－三重県鳥羽市を事例に－

細谷美紀 (筑波大・院)：日本における学歴付与システムの実態と変容

村上翔太 (筑波大・院)：つくば市における都市公園の施設と利用－近隣公園に着目して－

渡邊瑛季 (筑波大・院)：日本におけるスピードスケートの地域的特徴

・巡検

「町並みにみる伝統的価値の再発見－谷中からアキバをあるく－」(参加者33名)

オーガナイザー：池田真利子, 磯野 巧, 卯田卓矢

【地理空間学会会則】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL：http://jags.ne.jp/index.html

【例会報告】

第14回(2012年9月27日, 於：筑波大学筑波キャンパス, 参加者38名)

・発表者および演題

福島義和(専修大)：長崎市斜面居住の現状と課題－水の浦地区を事例に－

第15回(2012年12月6日, 於：筑波大学筑波キャンパス, 参加者48名)

・発表者および演題

田林 明(筑波大)：農業・農村地理学の調査・研究手順－黒部川扇状地からの発想－

【編集委員会からのお知らせ】

8月：新規投稿「研究ノート」1編の担当委員および閲読者を決定した。

9月：新規投稿「研究ノート」1編の担当委員および閲読者を決定した。

11月：「研究ノート」2編について閲読結果をもとに検討し, これらを受理した。

【次号以降の投稿について】

第6巻1号は、2013年6月20日の発行を予定しております。第6巻2号の原稿については8月末まで、それ以降の原稿につきましても随時受け付けております。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために、会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして、会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には、編集委員会 (geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp) までお知らせください。

【投稿規定 & 執筆要項】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL : <http://jags.ne.jp/index.html>

【会員消息】

一般会員 小林浩二氏が2012年8月に、一般会員 上野健一氏が2012年9月に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

【新入会員】 (2012年6月21日から2013年1月7日)

池田和子 (首都大学東京・院)

福本 拓 (宮崎産業経営大)

竹澤史也 (筑波大・院)

丸山宗志 (立教大・院)

福島義和 (専修大)

(会員数 : 281人, 2013年1月7日時点)